

弁

五年 筆順 ㇿ ㇾ ㇽ ㇼ ㇻ ㇺ ㇻ ㇼ ㇽ ㇾ ㇿ

ㇿ ㇾ ㇽ ㇼ ㇻ ㇺ ㇻ ㇼ ㇽ ㇾ ㇿ

成り立ち



「冠」の形を表した「ム」と、「両手」の形を表した「井」とを組み合わせて作った字です。「冠を両手でもった形」を表した字ですが、「冠」という意味に使われず、「武弁」とは、「武士の冠」のことですが、「武士」の意味に使われています。しかし、今では、同じ音の「辨」「辯」の意味に使われます。

「辨」は、「二人の対決を、刀で切り分けるように見事に裁く」意味で、「わかまえる」ことです。【例】弁別。

「辯」は「二人の対決を、巧みな言で解決する」意味で、「巧みなことば」のことです。【例】弁論、弁護、弁解。

「瓣」は、「瓜の中身」のことで、「果肉」の意味から「花びら」の意味に使われます。【例】花弁。また、花卉の形をしたものの意味に使います。【例】安全弁。

使い方

▽中身がよく熟しているかどうかの弁別は、外から見ただけではなかなかむずかしいものです。

▽まちがっていたと思ったら、弁解しないで、あやまり、心から反省することがたいせつです。

▽つばきの花の花弁をひろって、糸を通し、首かざりを作って、妹の首にかけてやりました。

熟語例

▽武弁（武官が頭にのせる冠のことですが、「武士」の意味に使います。【例】私は一介の武弁にすぎないので、そのようなことはおこたわりします。）

▽弁別（よく辨えていて区別できること。「判別」や「識別」と似た意味のことばです。）

▽弁解（巧みなことばで、まちがいの言い訳をすることです。「弁明」とも同じ意味です。）

▽弁護（他人のために言い訳をしてやり、その人を守ってやること。護は「ことばで守る」こと。）

▽弁論（巧みで、すじ道の通った話。「論じ合い」の意見を述べることに多く使われます。）

▽花弁（花びら）

使い方

▽ぼくは、三歳の時から学校に入るまで、保育園に通っていました。

▽学校では、お父さんやお母さんのことを保護者と言っています。

▽牛乳はそのままでは保存がききませんが、冷蔵庫だと数日は保存できます。

熟語例

▽保育（子どもをまもり養い育てること。）

▽保育園（家庭にいない親に代わって、子どもを保育する施設のこと。）

▽保護（護も「まもる」こと。親が子を「まもる」ことですが、今は、弱い人を他人が「助けまもる」ことにも使います。【例】まい子が交番に保護されています。）

▽保存（そのままの状態を保って、存在すること。【例】牛乳の保存期間が過ぎています。）

▽保守（正常な状態を保つように守ること。【例】機械の保守点検を定期に行っています。また、「古くからの伝統や習慣をたいせつに守り続ける」意味にも使います。

【例】保守と革新との対立）

保

五年 筆順 ㇿ ㇾ ㇽ ㇼ ㇻ ㇺ ㇻ ㇼ ㇽ ㇾ ㇿ

ㇿ ㇾ ㇽ ㇼ ㇻ ㇺ ㇻ ㇼ ㇽ ㇾ ㇿ

成り立ち



子どもを両手でだき上げた形を表した「呆」と「イ」とを組み合わせて作った字です。

「人が子どもを、まもり養う」ことを表した字です。【例】保育。

単に、「まもる」意味にも使います。【例】保護。

「まもり続ける」ことを「たもつ」と言います。ある状態をそのままたいせつに守り続けることです。【例】保存、保持、保守。